

## 恵那農林事務所農業普及課の普及活動報告 令和8年1月

### 安心で身近な「恵那の食」づくり

#### ■ トマト、GAP 東美濃夏秋トマト生産協議会GAP内部監査を実施

東美濃夏秋トマト生産協議会は、中津川市、恵那市のトマト生産者110名からなる団体である。1月に入り、協議会では会員の「ひがしみのGAP」の実施状況を確認中である。

「ひがしみのGAP」は、協議会独自で設けたルールに基づき生産者全員が「安全なトマト生産、環境への負荷低減、生産者の労働安全、経営の継続」を目指して取り組んでいるローカルGAPである。

普段は個々の判断で実践しているものの、産地としてのレベル維持のため毎年一定数の生産者を選び、生産者役員、JAひがしみの・農業普及課担当者による客観的なチェックを行っている。

1月22日は、協議会の1支部である中津川市夏秋トマト生産協議会の内部監査を行い、農薬・燃料の保管状況、収穫残渣の廃棄方法、農作業事故回避のための対策等の聞き取りを行った。

こうした取組は産地の信頼、維持にもつながることから、農業普及課としても継続支援を行っている。



【農薬保管庫の施錠機能の確認】  
(園芸産地支援第一係)